

公表します!

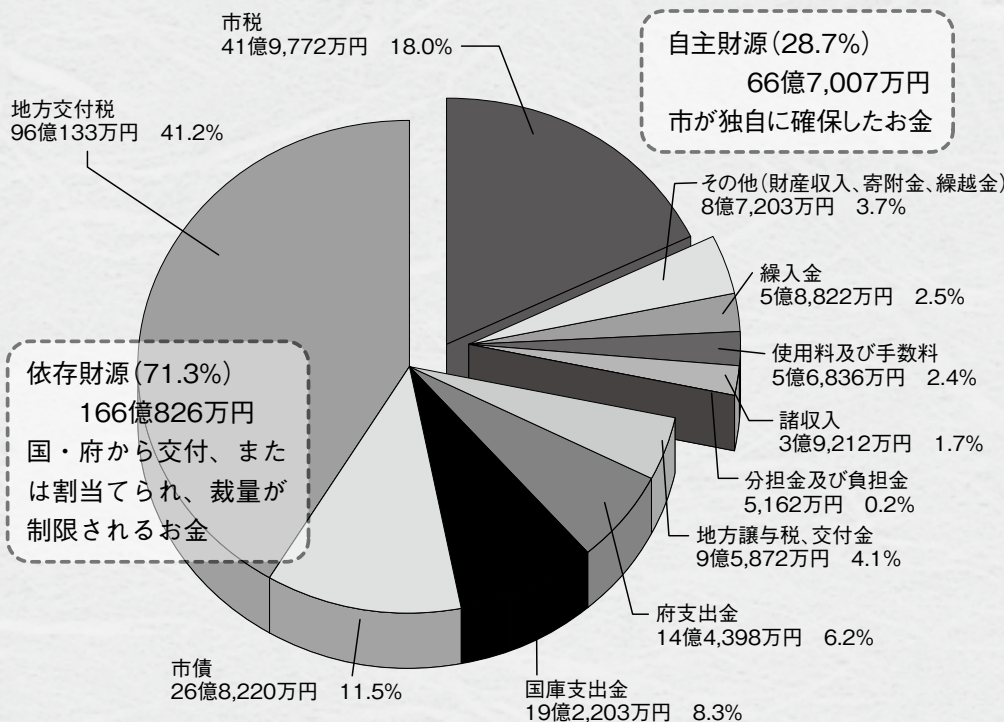
※表示単位未満四捨五入のため
合計が一致しないことがあります。

皆さんの税金がどのように使われ、市の財政がどのような状況にあるのかを知っていただくため、年2回財政状況を公表しています。

今回は平成29年度(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)の決算状況と平成30年度上半期(平成30年4月1日から平成30年9月30日)までの予算執行状況をお知らせします。

平成29年度決算

一般会計 歳入
232億7,833万円



○一般会計の決算
平成29年度の一般会計決算は、歳入総額232億7833万円、歳出総額224億9159万円となりました。歳入歳出差引額は7億8674万円です。このうち翌年度へ繰り越すべき財源2億7839万円を差し引いた実質収支額は5億835万円の黒字決算となりました。
南丹市では、今後とも事務事業の見直しを積極的に行い、長期的に安定した健全な財政運営を目指します。

健全化判断比率	指標	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
平成29年度		—	—	13.4%	102.6%
早期健全化基準		12.85%	17.85%	25.0%	350.0%
財政再生基準		20.00%	30.00%	35.0%	

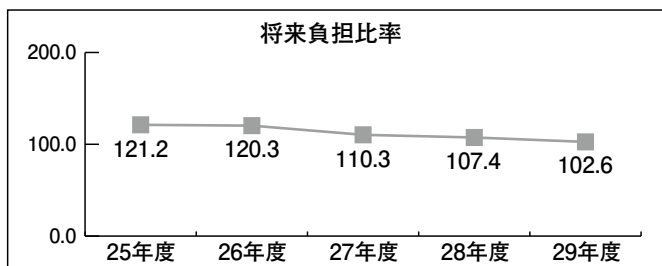
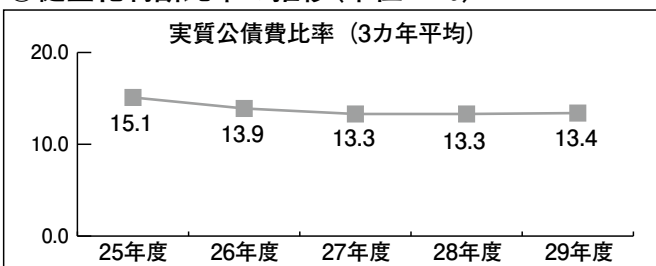
※赤字額がないため、実質赤字比率と連結実質赤字比率は「—」としています。

資金不足比率	特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
南丹市上水道事業会計		—	20.00%
南丹市簡易水道事業特別会計		—	
南丹市下水道事業特別会計		—	

※資金不足額がないため、資金不足比率は「—」としています。

○財政健全化判断比率など
地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定により、毎年度、決算に基づいて健全化判断比率などを算定し、公表することとされています。
健全化判断比率の4指標は、いずれも早期健全化基準を下回っています。

○健全化判断比率の推移(単位: %)



借入金(地方債)の返済額(公債費)の大きさを、南丹市の財政規模に対する割合で表す指標です。

借入金(地方債)など現在抱えている負債の大きさを、市の財政規模に対する割合で表す指標です。